

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	29200	道路維持補修事業	予算科目	会計	一般	款	8	項	2	目	2	所管課	建設課	担当班	土木班	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
基本施策	17	安全で快適な道路の整備	根拠法令	道路法、旭市法定外公共物管理条例														
施策の展開	36	市道の整備	戦略事業	172 市道の維持補修事業														
施策の展開			戦略事業															

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない				
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市道の舗装及び付属施設の破損をパトロール及び地元住民からの要望等により把握し、緊急性のあるものから維持補修計画を作成して市道の維持補修を行うものである。 緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるような間で業務委託を行っている。				
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化		⑤ 事務事業に対する住民からの意見等		
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故や2次災害防止の目的のため、事業を実施している。	大型車両の増大により開始時期の舗装構成では強度が不足している路線が見受けられる。		道路破損箇所が起因となったタイヤのパンク、自転車の転倒などの報告。補修の早急な対応が求められている。		

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.道路補修委託料	17,006 1件
2.調査・測量委託料	
3.道路舗装改修工事	161,666 52件
4.負担金補助及び負担金	
5.その他	
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	46,300 道路維持補修事業債
4.その他	

費目内訳	単位	29年度(決算)	30年度(決算)	1年度(決算)	2年度(決算)	3年度(予算)
1.道路補修委託料	千円	12,420	12,420	15,571	17,006	19,030
2.調査・測量委託料	千円	14,953		1,419		
3.道路舗装改修工事	千円	164,743	204,580	191,823	161,666	330,000
4.負担金補助及び負担金	千円	1,242				1,000
5.その他	千円					
事業費計(A)	千円	193,358	217,000	208,813	178,672	350,030
1.国庫支出金	千円	5,381				
2.都道府県支出金	千円					
3.地方債	千円		93,800	84,900	46,300	
4.その他	千円			4,384		
5.一般財源	千円	187,977	123,200	119,529	132,372	350,030

前年度増減理由	維持補修延長が前年に比べ617m減少したため
---------	------------------------

従事職員数 常時 10人 最大 人 × 日 = 延べ 人

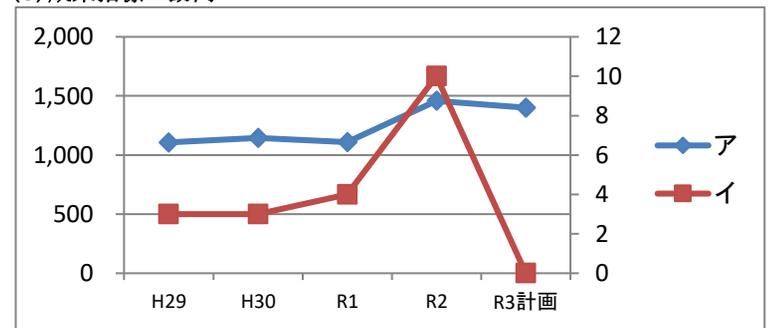
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 道路維持補修工事 52件 L=2,849.3m	ア 維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	4,118	4,839	3,466	2,849	4,130
		イ 年間委託による維持補修件数	件	50	59	53	76	64
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	対象意図 市道 安全性の向上 利用者(市民) 安心して通行できる	ア 年間要望・苦情の件数	件	1,107	1,144	1,108	1,458	1,400
		イ 道路維持管理に起因する車両事故件数	件	3	3	4	10	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地 かなりある	コスト比率 下位 1/3
	普通	ある程度ある	中位 1/3
	小さい	ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	① ② ③ ④⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨
			(8)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input checked="" type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難				
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値増=成果向上	向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標Aのタイプ	成果指標イのタイプ	数値増=成果向上	向上	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期	内容	今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他()	
	令和2年度	例年通り実施	通年	適切な時期に事前対応による処置で苦情、事故件数を縮小させる。	